

第3回研究会

平成28年6月9日(木) 13:30~

テーマ:「家族の病気」

松原宏治

家内の体調がすぐれず、今年1月市内の病院で診察を受けたところ卵巣がんと分かりました。がんだとわかった時、私も、家内も大きなショックでした。がんと聞くだけで、今にも死ぬのではないかという不安がよぎり、頭から消えませんでした。死を考えなくてはならない年になったということでしょうか。人生、長生きすることが幸せとは限らないと思いました。

卵巣は女性の子宮の両側に1つずつある親指大の臓器で、卵巣にがん細胞が発生すると卵巣がんと診断される。年間6000人から8000人が卵巣がんにかかっており閉経後の50歳前後と80歳前後の女性に多く認められます。

(婦人科のがんによる死亡数2013年)

乳がん	子宮がん	卵巣がん
11,148人	6,033人	4,717人

(卵巣がんの発生する組織による種類)

- ・上皮性腫瘍(卵巣をおおう細胞の層:卵巣がんの90%が上皮性)

上皮性がんはさらに主に4つの細胞型に分けられ、抗がん剤の効果が異なる。

- ・漿液性腺がん(抗がん剤がよく効く)
- ・類内膜腺がん(抗がん剤がよく効く)
- ・明細胞腺がん(抗がん剤が効きにくい)
- ・粘液性腺がん(抗がん剤が効きにくい)

- ・胚細胞(卵子のもとになる細胞)性腫瘍
- ・性索間質(ホルモンを産生する細胞)性腫瘍

(卵巣がんの病期ステージ)

- ・I期 がんが片側あるいは両側の卵巣だけにとどまっている
- ・II期 がんが卵巣の周囲、つまり卵管、子宮、直腸、膀胱などの腹膜に進展している。
- ・III期 がんが上腹部、または後腹膜リンパ節あるいは鼠径リンパ節に転移している
- ・IV期 がんが遠隔部位に転移しているか、あるいは肝臓実質に転移している

(ステージと5年相対生存率)

I期	がんが片側或いは両側の卵巣だけにとどまっている状態	88.7%
II期	がんが周囲、卵管、子宮、直腸、膀胱などの腹膜に進展	69.9%
III期	がんが上腹部、または後腹膜リンパ節あるいは鼠径リンパ節に転移している	39.2%
IV期	がんが遠隔部位に転移しているか、あるいは肝臓実質に転移している	24.5%